

2022年10月7日

オリンパス、画質向上とユーザーニーズに幅広く応じた機能を搭載の内視鏡用超音波観測装置「EU-ME3」を新発売

オリンパス株式会社（本社：東京都新宿区）は、内視鏡用超音波観測装置「EU-ME3」を、欧州、中東、アフリカ、アジア一部地域、オセアニアおよび日本で、2022年度中に発売する。

本製品は、膵臓がん・肺がんの精密検査や胃がん・食道がんの深達度診断などを目的に、先端に超音波振動子がついた内視鏡（超音波内視鏡）と接続して超音波を送受信する装置で、超音波内視鏡の先端を胃などの消化管にあてることで消化管の奥に存在する膵臓・胆嚢などの臓器や腫瘍などの病変を超音波画像で描出することができる。

なお、従来機種「EU-ME2」シリーズと同様のコンパクトサイズでありながら、超音波の送受信処理の高精度化により画質の大幅な向上を実現しており、病変の有無や内部の性状などをより鮮明に描出し、信頼性の高い診断・治療方針の決定をサポートする。

また、観察範囲にある組織の硬さの情報を数値化する機能など、多彩な機能の中からユーザーが必要とする機能を選択的に導入できる仕様で病変や血流情報などをより鮮明に画像描出することで、消化器・呼吸器領域においてより質の高い内視鏡診断・治療の実現に貢献するとしている。